



臨床検査部

●主な業務

採血

○採血室では、一度に10人の採血をします。

検体検査

患者さんから採取した血液や尿、便、細胞などを調べる検査です。

- 血液検査……白血球・血小板などの数や、ヘモグロビンの値などを調べます。
- 一般検査……尿・便などに含まれる成分を調べて、腎臓や消化管などの異常を見つけます。
- 生化学検査……腎臓・肝臓の機能や糖・脂質代謝などの指標となる、血液や尿などに含まれるタンパクや酵素、脂質などを測定します。
- 免疫検査……免疫機能の状態を調べ、体内に侵入した細菌やウイルスを特定したり、私たちの身体が防御機能として作った抗体、さらには自己免疫の異常などを調べます。

微生物検査

採取した検体を培養し、感染症の原因となる細菌やウイルス、真菌などの微生物を検出し、治療薬選択の助けとなる検査を行います。

生理検査

心電図や肺機能、脳波、筋電図などのほか、体の表面温度を測定するサーモグラフィや静脈瘤を調べる空気容積脈波など、他の施設ではあまり実施されていない検査も行っています。

臨床検査部では、50数名の臨床検査技師を中心としたスタッフが、主治医からの依頼を受け、血液検査や尿検査、微生物検査、心電図や脳波の測定など、病気の診断や治療、副作用チェックなどの健康の維持・増進に欠かせないさまざまな検査を行っています。



迅速かつ正確な検査を行っています

臨床検査部
こしば まさひろ
小柴 賢洋 部長

臨床検査部では、国家資格を持つ臨床検査技師が、病気の診断やその後の治療計画などに役立つさまざまな検査を行っています。その検査は、検体検査のほか、微生物検査、生理検査、遺伝子検査など多岐にわたり、すべての診療科の医師と密接に情報交換を行いながら進めています。また、感染制御チームの一員として院内感染防止のための活動を行ったり、腎臓病教室や糖尿病教室で患者さんに検査の意義や方法を説明させていただいたりもしています。

検査においては、正確なデータをいかに早く医師のもとに届けるかが大切です。兵庫医科大学病院ではほ

とんどの検査を院内で行うことができ、採血など検査の入り口から、問い合わせへの対応や追加検査など検査後のサポートまでを一貫して行えるため、医師の要望に沿った迅速かつ正確な対応が可能です。また日頃から、患者さんの不快感を少しでも減らすため採血の手法や接遇などの質を高めるとともに、トレーニングや機械・試薬の精度管理を行い、さらには学会や研究会に積極的に参加して検査や病気について勉強し、検査のレベルアップを図っています。

緊急臨床検査士や認定血液検査技師、認定臨床微生物検査技師、日本臨床神経生理学学会認定技術士、認定一般検査技師といった認定資格をとり、その分野のスペシャリストを目指す臨床検査技師も増えています。病棟で看護師とともに患者さんをサポートするなどますます活躍の場を広げながら、チーム医療をしっかりと支えていきます。